



平成 19 年 1 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社テー・オー・ダブリュー  
代 表 者 名 代表取締役社長 川村 治  
( JASDAQ・コード 4767 )  
問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 常務取締役管理本部長 木村 元  
電 話 03 - 3502 - 8887

### 平成 19 年 6 月期中間 ( 連結・単独 ) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 6 月期中間期 ( 平成 18 年 7 月 1 日 ~ 平成 18 年 12 月 31 日 ) の業績予想について、平成 18 年 8 月 7 日付当社「平成 18 年 6 月期決算短信 ( 連結 ) 」及び同日付当社「平成 18 年 6 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 1 . 平成 19 年 6 月期中間連結業績予想の修正等

( 1 ) 平成 19 年 6 月期中間期 ( 平成 18 年 7 月 1 日 ~ 平成 18 年 12 月 31 日 )

( 単位 : 百万円 )

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 ( A )	6,187	384	206
今回修正 ( B )	6,433	581	307
増減額 ( B - A )	246	197	101
増 減 率	4.0%	51.3%	49.2%

( 2 ) ご参考 : 前期の実績 ( 平成 17 年 7 月 1 日 ~ 平成 18 年 6 月 30 日 )

( 単位 : 百万円 )

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
中間期 ( 7/1 ~ 12/31 )	6,734	403	231
通 期 ( 7/1 ~ 6/30 )	12,341	784	423

## 2. 平成19年6月期中間単独業績予想の修正等

(1) 平成19年6月期中間期(平成18年7月1日～平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	6,087	399	224
今回修正(B)	6,315	535	291
増減額(B-A)	227	136	67
増減率	3.7%	34.2%	29.9%

(2) ご参考:前期の実績(平成17年7月1日～平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期(7/1～12/31)	6,395	380	225
通期(7/1～6/30)	11,839	756	413

## 3. 修正の理由

(1) 中間連結業績

中間連結業績につきましては、下記中間単独業績の修正に伴うもの、及び当社100%子会社である株式会社ティー・ツー・クリエイティブの抜本的な制作体制の見直しを行った結果、経常利益が前回予想の5百万円から63百万円増加し、68百万円となること等によるものであります。

(2) 中間単独業績

当中間期の業績につきましては、売上高は「愛・地球博(愛知万博)」等の特需効果があった前年同期との比較では減少するものの、若手社員が着実な成長を遂げたことによる受注案件数の増加等が寄与し、前回予想(平成18年8月7日発表)の6,087百万円から227百万円増加し、6,315百万円となる見込みであります。

また、経常利益につきましては、著しく利益率の低かった上記愛知万博等の大型案件が当中間期にはなかったことに加え、これまで利益率低下の要因のひとつであった若手社員の成長不足が、教育研修の効果により解消し始めたことにより、当該利益率も回復に向かってまいりました。

この結果、前回予想の399百万円から136百万円増加し、535百万円となる見込みで

あります。

当期純利益につきましては、特別損失として過去勤務債務 11 百万円の計上を見込んで  
いるものの、前回予想の 224 百万円から 67 百万円増加し、291 百万円となる見込み  
であります。

4．通期業績につきましては、先行きが不透明なところもあり、現時点では前回予想との  
変更をしておりませんが、当期純利益につきましては、当中間期に計上いたしました特別損  
失により、多少の影響がでる可能性があります。修正の必要がある場合は、速やかに開示い  
たします。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につ  
きましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる  
場合があります。

以 上